

## リフレッシュ充電のしかた

バッテリーを充電器に差し込んだときにリフレッシュランプが点滅した場合、メモリー効果の予防と解消のため、リフレッシュ充電を行なってください。

リフレッシュランプが点滅しないときは、リフレッシュ充電は不要です。

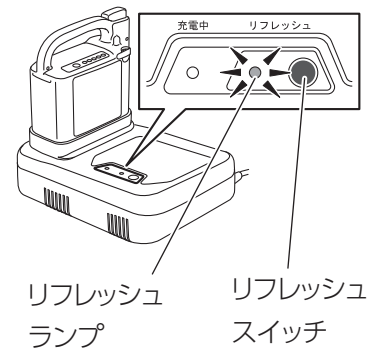
### 要 点

リフレッシュランプは、通常の充電20～30回につき1回程度の割合で点滅します。

### 要 点

リフレッシュ充電は、バッテリー残量が多い状態で実施すると時間がかかります。そのため、バッテリー残量が少ない状態で実施することをおすすめします。

1 リフレッシュランプ点滅中に、リフレッシュスイッチを押します。



2 リフレッシュランプが点灯に変わり、リフレッシュ充電が始まります。

3 バッテリーに残っていた電気を放電し終わるとリフレッシュランプが消灯し、続けて充電ランプが点灯して通常の充電が始まります。

### ● リフレッシュランプを見逃したら

リフレッシュランプは約1分間点滅します。リフレッシュスイッチを押さずにいると、リフレッシュランプが消灯して通常の充電が始まります。この場合、次にバッテリーを充電器に差し込んだときに再びリフレッシュランプが点滅するので、リフレッシュ充電を実施してください。

### ● バッテリー内部温度による待機

リフレッシュ充電による放電は、バッテリーの内部温度が上昇しても停止することはありません。放電が完了して充電が開始されるとき、バッテリーの内部温度が40℃以上になっている場合は、充電ランプが点滅して待機状態になります。内部温度が適温範囲まで下がると自動的に充電が開始されます。